

# 履歴書

2012 年 5 月 28 日現在



ふりがな		いけだ あずま	
氏 名			
池田 梓			
出身地	年齢	※	
埼玉県	(満 29 歳)	男 ・ 女	
参加した NICE ボランティア	分野		
モンゴル	農業		
場所 (国・市町村まで記入)	モンゴル ウランバートル市内・郊外		満足度
受け入れ団体	MCE		活動のやりがい度
			7

こんなボランティアでした
ウランバートル市内：日本語を学ぶ大学生と文化交流、養護施設の見学
// 郊外：養護施設の子どもたちと、畑の作物の収穫、草原でゲル宿泊体験

年齢	経歴
20 歳	ワークキャンプに参加。
22 歳	大学卒業後、フリーペーパーを作る会社に就職。NICE プレスの編集も手伝う。
	SSP (Sister-School-Project) に参加。
24 歳	事務職に転職。本格的に SSP の活動に参加するようになる。
26 歳	結婚を期に退職。
28 歳	夫の転勤で上海へ。
趣味・特技	読書
座右の銘	何とかなるか
参加までの旅行経験・ボランティア経験	
家族旅行でアメリカに行ったことくらいです。	

記入上の注意 1：鉛筆以外の黒または青の筆記具で記入。2：数字はアラビア数字で、文字はくずさず正確に書く。

3：※印のところは、該当するものを○で囲む。

志望動機
学生のうちに旅行以外で海外に行ってみたいと思ったことがきっかけでした。
在籍していた学部が、様々な国（特にアジア地域）について学ぶところだったので、自然と外に目が向いていたのかと思います。
モンゴルを選んだのは、探した時期にまだ空きがあったからです(笑)NICEという団体も初めて知ったのですが、ここなら安心かな？というのもありました。

行くまでに心配だったこと（どう乗り越えたか）
あまり心配ごとにはなかったように思います。事前に同じキャンプに参加した方とお会いする機会が持てたので、そこで持ち物や生活についての不安は解消できました。
また、その時に一緒に参加するメンバーとも顔合わせができたこともよかったと思います。

家族・友人・学校・職場の反応（私はこうやって説得した!）
特に反対されることはありませんでした。現地から手紙で家族に近況報告をしたような気がします。

ワークキャンプとその後の人生（進路決定、参加経験が役立っていること等）
就職先に大きく影響したということはありませんが、ワークキャンプを通じてNICEに関わるようになりました。帰国後は、とにかく何かしなければ！と思っていたことは覚えています。
その後、SSPというNICEのプロジェクトの一つに関わるようになり、上海に来る直前まで活動していました。
一番大きかったことは、自分が動かないと何も始まらないし変わらない、ということを実感したことでした。
これは仕事をする上でとても役に立ったと思います。
余談ですが、夫とはNICEを通じて知り合いましたが、これはだいぶ大きなおまけでした。

成長ダイアグラム ※	これから参加を考えている人へ、熱いメッセージを♪
	<p>色々想像して不安になるより、行ってみる事です。もちろん期待が外れることもあると思います。ですが、その経験が後々生きてくることが必ずあります。</p> <p>それまでの自分の価値観が180度変わるかもしれません。</p> <p>そんなチャンスを逃すなんてもったいないです！</p>

※成長ダイアグラム（5＝とても得るものがあつた・良くなった。4＝まあまあ得るものがあつた・良くなった。3＝前と変わらなかった。影響なし。2＝前よりもやや劣るようになった・悪くなった。1＝前よりもずっと劣るようになった・悪くなった。）